

No.6 Kくん (平成24年3月卒・現20歳) 遠洋カツオ1本釣り船

Q. 仕事の内容は？

- * 焼津に船籍のある遠洋カツオ1本釣り船に乗船している。
- * 卒業して半年、これまでに4航海経験した(1航海は40~50日間)。入港後は、水揚げや仕込(次航海の準備)、休養など5~6日間停泊して、次航海に出港している。
- * 県外出身なので、帰港中も実家に帰ったのは一度だけ。
- * 最初の航海の途中から1人で機関当直(2~3時間/回)に入っているが、大きなトラブルはない。
- * 操業中の鳥探しは、甲板部のベテランがやっているのだから、機関部の自分はやらない。
- * 船員は25名中15名がインドネシアやキリバスなどの外国人。
- * 食事は、インドネシアのシェフが作るが、肉料理が多く味はイマイチ。野菜不足なので毎日野菜ジュースを飲んでいる。
- * 船酔いは始めからなかった。

Q. 大変だったことは？

- * 仕事を覚えるまでは、何でも大変だと思った。
- * 東沖で操業の時は、2時過ぎには日の出になるので、陸にいる時と活動時間が全く異なるので、慣れるまでは大変(17時頃には就寝)。
- * 魚のシフト(冷凍庫への移動)がある時は、更に早く0時過ぎに起きるので、しんどい。
- * 機関場は音が大きく、先輩の指示が聞こえにくいので、何度も訊き直して怒られた。
- * シフト中に、ブライン(凍結)液に浸かる失敗をしてとても寒かった。

Q. 良かったことは？

- * 面倒見がよく、仕事ができる先輩機関士や甲板長がいて、とても勉強になる。
- * 自分で働いて得たお金を、自分で使える喜びがある。
- * 力(体力)がついた。
- * 先輩と酒を飲んだり、仲良く話したりすることが楽しい。
- * 疲れるけど、入れ食いの時はとても楽しい。

◇◆◇在校生へアドバイス◆◆◇

- * ロープワークと差し継ぎはとてもよく使っているので、必ず覚えること。
- * 早寝、早起きに慣れておくこと。

(平成24年9月21日)



卒業してまだ半年ですが、Tシャツから出る二の腕や指先は、ガッチリとした力強さと“海の男”らしさが溢れていました。入港時には趣味のパチンコを楽しんでいるそうですが、ほどほどにね。